

# 大伴小だより

富田林市立大伴小学校 校長 釜坂 佳成  
富田林市南大伴町一丁目2番20号

10月号

0721-24-3104

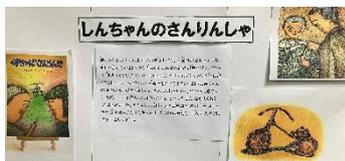


## “平和”について考えました……

1945年6月23日：沖縄戦終結。20万人、実に当時の沖縄住民の4人に1人が亡くなりました。同年8月6日：広島に原爆投下。午前8時15分、14万の人の命が一瞬で消え去りました。同年8月9日：

長崎に原爆投下。7万人の命が消えました。同年8月15日：終戦。

今から79年前、私たち日本が経験した“戦争”の一部です。とてつもない数字ですが、そこには消えていったひとつひとつの命があったはず。今を生きる皆さんと同じように、それぞれが喜びや期待、悲しみや悩みを抱えながら懸命に生きていたのでしょう。それなのに、自分が死んだことさえわからぬまま消えていった命もあったでしょう。逆に、熱さに痛みを感じる涙とともに亡くなった人もいたことでしょう。この一人ひとりの犠牲の上に、私たちの現在の生活が成り立っているわけで、私たちはそのひとつひとつの命を“平和”に結晶させていく努力を続けなければなりません。



大伴小学校では2学期初めに「平和学習」を行いました。各学年でビデオなどを見て、それぞれが感想文を書きました。命の大切さに触れ、一生懸命に考えてくれましたね。

“平和”のために自分ができること……。とても難しいことに思っていますが、長崎の被爆者・下平さんがそのヒントとなる言葉を与えてくれています。

### 「平和とは人の痛みがわかること」。

どうでしょうか？ これならできそうですね。なにも難しいことを言ったりしなくてもいいんです。自分の身の回りの出来事や日本、世界で起きていること、その中に“痛み”を感じる場面はありますか？